千代田区地域防災計画

様　式　集

千代田区防災会議

千代田区防災計画(様式集)

目次

1　防災行政無線	No.
受信用紙(都・多重無線及び区・防災行政無線共用様式)	1
発信用紙(都・多重無線及び区・防災行政無線共用様式)	2
気象情報受信用紙(都・多重無線受信様式)	3
2　本部態勢	
非常配備態勢別動員表	4
本部連絡員報告	5
水防実施状況報告書	6
公用負担命令票	7
公用負担権限委任証明書	8
3　被害調査	
災害記録用紙	9
り災台帳	10
り災証明申請書	11
り災証明書	12
り災証明書発行台帳	13
災害見舞金受領書	14
4　医療救護活動	
医師会	
費用弁償等請求書	15
医療救護班活動報告・医療救護班員名簿	16
医療救護診療記録	17
薬品・衛生材料使用報告書	18
事故報告書	19
事故傷病者概要	20
物件損傷等報告書	21
歯科医師会	
費用弁償等請求書	22
歯科医療救護班活動報告・歯科医療救護班員名簿	23
歯科医療救護診療記録	24
薬品・衛生材料使用報告書	25
事故報告書	26
事故傷病者概要	27
物件損傷等報告書	28

薬剤師会	
応急医薬品等供給要請書	29
応急医薬品等供給に係る請求書	30
費用弁償等請求書	31
薬剤師活動報告・薬剤師名簿	32
医薬品等使用報告書	33
事故報告書	34
事故傷病者概要	35
柔道整骨師会	
応急対策業務要請書	36
衛生材料等使用請求書	37
応急対策活動報告書	38
5　応急対策物資等優先提供・供給協定	
提供・供給要請書	39
提供・供給に係る請求書	40
6　地域防災組織	
地域防災組織結成報告書	41
防災資器材助成申請書	42
防災資器材助成受領書	43
防災資器材第二次装備助成申請書	44
防災資器材第二次装備助成受領書	45
補助金交付申請書	46
防災資器材整備事業計画書兼収支計画書	47
補助金交付決定通知書	48
補助事業実績報告書	49
請求書	50
委任状	51
防災資器材緊急装備助成申請書	52
防災資器材緊急装備助成受領書	53
7　給水・避難施設	
給水施設の使用について(申請・承認)	54
給水施設使用責任者選任・変更通知	55
資器材の搬入・点検について(申請・承認)	56
避難所開設通知書	57
避難所使用期間延長申請書	58
避難所使用終了届	59
避難所勤務状況	60

日誌	61
物品受払簿	62
収容者名簿	63
避難所収容状況調	64
8　緊急車両	
緊急通行車両等事前届出書	65
緊急通行車両等確認申請書	66
緊急通行車両等確認証明書	66
緊急通行車両等確認票章	66
9　遺体収容	
救助実施記録日計表	67
救助の種目別物資受払状況	68
遺体の捜査状況記録簿	69
死体処理台帳	70
遺体処理票	71
遺留品処理票	72
災害遺体送付票	73
遺骨及び遺留品処理票	74
埋葬台帳	75
10　災害対策本部運営	
災害対策本部記録様式	76

1

防災行政無線

受　信　用　紙

千代田区災害対策本部

<table>
<tr><td>本部長</td><td>副本部長</td><td>部 長</td><td>課 長</td><td>係 長</td><td>係 員</td><td colspan="2">年月日</td><td colspan="3">平成　　年　　月　　日　　時　　分</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="2">発</td><td>機関</td><td></td><td rowspan="2">発令番号</td><td rowspan="2">第　　号</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>氏名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="11">件　名</td></tr>
<tr><td colspan="11">（本　文）</td></tr>
<tr><td colspan="11">本信に対する措置の大要</td></tr>
</table>

発　信　用　紙

千代田区災害対策本部

本部長	副本部長	部　長	課　長	係　長	係　員	本部会議 審　　議	庁内放送	区 民 伝 達 （防災無線）	関係機関 通　　報
						要　　否 了	要　　否 了	要　　否 了	要　　否 了

あて先

件　名

平成　　年　　月　　日　　時　　分　　千代田区災害対策本部　発第　　号

（本　文）

気 象 情 報 受 信 用 紙

千代田区災害対策本部

受信年月日・時間	平成　　年　　月　　日　　時　　分		
発 信 機 関 名	都災害対策本部（都庁夜間防災本部）発　第　　号		
気象庁予報部　　時　　分　発表		受 信 者 名	
年台風第　　号に関する情報（第　　号）			
本　　文			
時　　刻	台風第　　号は　　日　　時には		
位　　置	北緯　　度　　分、東経　　度　　分にあって		
速度方向	毎時　　キロの速さで　　に進んでいます。		
強　　さ	中心気圧は　　ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は　　メートル		
大 き さ	中心から半径　　キロ以内では風速　　メートル		
	キロ以内では風速　　メートル以上の暴風と		
	なっています。（強い風がふいています。）		

部　長	課　長	係　長	係　員

2

本部態勢

第１号様式

非常配備態勢別動員表

(行政組織名)　　部

災　対 組織名	課　　名	所　　属 職　員　数	第１非常配備 態勢　　（人）	第２非常配備 態勢　　（人）	第３非常配備 態勢　　（人）	備　　考
	課					
	課					
	課					
	課					
	課					
	課					
部	合　　計					

(注)　1　所属職員数は、本部組織に対応する通常の行政組織に所属する総職員数を記入すること。

2　女子職員は、カッコ内書とすること。

3　部長、課長も含めること。

4　区長（本部長）、副区長、教育長（副本部長）は含めない。

第２号様式

本 部 連 絡 員 報 告

(行政組織名)　　部

通常の行政組織における職名	本部組織における職名	氏　　名	電　　話		住　　所
			勤務場所	自　　宅	

(注)　1　自宅に電話がない場合は、必ず呼び出し電話を記入すること。
　　2　各人ごとに自宅付近の案内図を添付すること。
　　3　携帯電話を所有する人は、自宅欄に記入すること。

水防実施状況報告書

平成　　年　　月　　日

東京都知事殿

水防管理者　　㊞

気　象　名				
水防実施個所	川　　左　　岸　　地先　　m 右			
日　　時	自　　月　　日　　時　　至　　月　　日　　時			
出　　勤	職　員		その他	合　計
人　　員	人	人	人	人
水防作業の概況及び工法	個所　　m 工法			

水防の結果		堤　防	田	畑	家	鉄　道	道　路	人　口	その他
	効　果	m	㎡	㎡	戸	m	m	人	
	被　害	m	㎡	㎡	戸	m	m	人	

使用資器材	品　名	数　量		
			居住者の出動状況	
			水防関係者の死傷	
			雨量水位の状況	
備考				

（注）1　この報告書は水防箇所毎に作成し、場合によっては図面を添付すること。

2　水防作業終了後３日以内に事務所を経由し、建設局河川部防災課に提出すること。

3　俵、かます、布袋類、たたみ、むしろ、なわ、竹、生木、丸太、杭、板類、鉄線、釘、かすがい、蛇籠、置石、及び土砂を使用したときは、各々の数量、単価、金額を明記すること。

公用負担命令票

住　　所

氏　　名

第　　号

負担者

物　件	数　量	負担内容（使用、収用、処分等）	期　　間	摘　要

災害対策基本法第64条
水 防 法 第 21 条
の規定により上記物件を収用（使用又は処分）する。

処分権者　　氏　　名　　㊞

公用負担権限委任証明書

所属・役職　　氏　　名

第　　号

上の者に下記の権限を委任したことを証明する。

権限

地区における　災害対策基本法第 64 条／水 防 法 第 ２１ 条　に定める権限

水防管理者
(千代田区長)　　氏　　名　　印

3

被害調査

災害記録用紙

に伴う防災収集及び対応経過概要

防災機関からの情報及び対応				区の対応	
情報		対応		日付及び時間	内容
日付及び時間	機関名及び内容	日付及び時間	機関名及び内容		

り災台帳

平成　　年　　月　　日

No.

受付月日	住　　所	世帯主氏名 事業所・代表者名	人数	被害の状況			事業所の形態		備　　考	
				1住　家 2事業所	1床上浸水（　　cm） 2床下浸水（　　cm）	3全壊 4大規模半壊 5半壊 6その他	1事務所 2倉庫	3店舗 4工場 5その他		
				1住　家 2事業所	1床上浸水（　　cm） 2床下浸水（　　cm）	3全壊 4大規模半壊 5半壊 6その他	1事務所 2倉庫	3店舗 4工場 5その他		
				1住　家 2事業所	1床上浸水（　　cm） 2床下浸水（　　cm）	3全壊 4大規模半壊 5半壊 6その他	1事務所 2倉庫	3店舗 4工場 5その他		
				1住　家 2事業所	1床上浸水（　　cm） 2床下浸水（　　cm）	3全壊 4大規模半壊 5半壊 6その他	1事務所 2倉庫	3店舗 4工場 5その他		
				1住　家 2事業所	1床上浸水（　　cm） 2床下浸水（　　cm）	3全壊 4大規模半壊 5半壊 6その他	1事務所 2倉庫	3店舗 4工場 5その他		
				1住　家 2事業所	1床上浸水（　　cm） 2床下浸水（　　cm）	3全壊 4大規模半壊 5半壊 6その他	1事務所 2倉庫	3店舗 4工場 5その他		

（様式１）

り災証明申請書

千代田区長　殿

平成　　年　　月　　日

[個人・事業所両用]

<table>
<tr><td rowspan="2">申　請　者</td><td>住　　所</td><td colspan="4">千代田区　　丁目　　番　　号</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td colspan="4">電話</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事　業　所</td><td>住　　所</td><td colspan="4">千代田区　　丁目　　番　　号</td></tr>
<tr><td>事業所名</td><td colspan="4">電話</td></tr>
<tr><td colspan="2">証明書の提出先</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">申　請　通　数</td><td>個　人</td><td>通</td><td>事業所</td><td>通</td></tr>
<tr><td colspan="2">目　　的</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

所・課長	係　長	係　員

（様式２）

り災証明書

証第　　号

世帯主	千代田区　　丁目　　番　　号				
	氏名　　世帯人員　　名				
事業所	千代田区　　丁目　　番　　号				
	事業所名　　代表者名				
り災状況	災害の原因		(1)　風水害（台風　　号）　(2)　震火災　(3)　その他		
	り災年月日		平成　　年　　月　　日		
	り災場所		千代田区　　丁目　　番　　号		
	家屋の種類	１住　家 ２事業所	(1)　全壊（焼）　(5)　床上浸水（　　ｃｍ） (2)　流失　(6)　床下浸水（　　ｃｍ） (3)　大規模半壊（焼）　(7)　その他　（　　） (4)　半壊（焼）		
	事業所の形態		(1)事務所　(2)店舗　(3)倉庫 (4)工場　(5)地下室　(6)その他		
	人的被害		(1)死亡　　名　(2)行方不明　　名 (3)負傷　　名		
	世帯人員		氏　　名	続　柄	年　齢
				本　人	
摘　　要					

上記のとおり、り災したことを証明します。

平成　　年　　月　　日

千代田区長　　印

り災証明書発行台帳（区長名）

平成　　年　　月　　日

番号	番号 証第　　号	受　付	申請者住所（所在地）	申請者氏名（代表者）	発行枚数	備　　考

災害見舞金受領書

¥＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記金額を千代田区の災害見舞金として受領しました。

千代田区長　殿

平成　　年　　月　　日

住　所　　千代田区＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　㊞

4

医療救護活動

様式１

費用弁償等請求書

平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日までにおける　災害・訓練　時医療救護活動に係る費用弁償等を、下記のとおり請求します。

記

金　　円

	職　種	延人員数	単　価	金　額	備　　考
医療救護班 実費弁償					延　班 詳細は別紙のとおり
小　計	―――		―――		
薬品・衛生材料 実　費　弁　償	―――	―――	―――		詳細は別紙のとおり
施設・設備 実　費　弁　償	―――	―――	―――		詳細は別紙のとおり
計	―――	―――	―――		

平成　　年　　月　　日

千代田区長 殿

㊞

様式１－１

医療救護班活動報告・医療救護班員名簿

地　　区 医師会名	医療救護班 責任者名	氏　　名	職種	救護活動場所	救護活動期間	救護実績				
						死　亡	重　症	中等症	軽　症	計
					月　　日 午前・午後　　時　　分 から 月　　日 午前・午後　　時　　分 まで					
					月　　日 午前・午後　　時　　分 から 月　　日 午前・午後　　時　　分 まで					
					月　　日 午前・午後　　時　　分 から 月　　日 午前・午後　　時　　分 まで					
計	――――	――――	――	――――	――――					

様式１－２

医療救護診療記録

地　　区 医師会名	医療救護班 責任者名	番号	氏　　名	性別	年齢	住　　所	傷病名	程度	処置概要	備　考
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		

(注)備考欄には、死亡又は転送先等を記入すること。

様式２

薬品・衛生材料使用報告書

地　　区 医師会名	医療救護班 責任者名	品　　名	使　用　量		薬価基準の購入価格		備　考
			単　位	数　量	単　価	金　　額	
計	―――	―――――――	―――		―――		―――

様式３

事 故 報 告 書

平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日までにおける　災害・訓練　時医療救護活動において、別紙のとおり事故傷病者が発生したので報告します。

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

㊞

様式３－１

事故傷病者概要

氏　名		性　別	男・女	年齢	才	住　所	
職　業		所属医療機関・団体名					
傷病名			程度	重症・中等症・軽症		転帰	
外来・入院（　　月　　日）		診療（入院）医療機関名					
受傷（発病）日時	年　　月　　日　　午前・午後　　時　　分						
受傷（発病）場所							
受傷（発病）時の状況							

様式４

物件損傷等報告書

医療施設名 及び所在地	物　件　名	損傷の 種　類	損傷の 程　度	数　量	単　価	金　額	備　考
計	――――――	―――	―――		―――		

(注) 1. 医療施設ごとに記入のこと。2. 物件名欄は、建造物、医療機械、器具及び自動車等を記入のこと。3. 損傷の種類欄は、破壊、破損、汚染及び紛失等を記入のこと。4. 損傷の程度欄は、全壊、半壊、使用不能等具体的に記入のこと。5. 備考欄は、損傷等の原因その他参考事項を記入のこと。

様式１

費用弁償等請求書

平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日までにおける　災害・訓練　時歯科医療救護活動に係る費用弁償等を、下記のとおり請求します。

記

金　　円

	職　種	延人員数	単　価	金　額	備　　考
歯科医療救護班 実　費　弁　償					延　　班 詳細は別紙のとおり
小　計	―――		―――		
薬品・衛生材料 実　費　弁　償	―――	―――	―――		詳細は別紙のとおり
施設・設備 実　費　弁　償	―――	―――	―――		詳細は別紙のとおり
計	―――	―――	―――		

平成　　年　　月　　日

千代田区長 殿

㊞

様式１－１

歯科医療救護班活動報告・歯科医療救護班員名簿

地区歯科医師会名	歯科医療班責任者名	氏　　名	職種	救護活動場所	救護活動期間	救護実績				
						死　亡	重　症	中等症	軽　症	計
					月　　日 午前・午後　　時　　分 から 月　　日 午前・午後　　時　　分 まで					
					月　　日 午前・午後　　時　　分 から 月　　日 午前・午後　　時　　分 まで					
					月　　日 午前・午後　　時　　分 から 月　　日 午前・午後　　時　　分 まで					
計	――――	――――――	――	――――	――――――					

様式１－２

歯科医療救護診療記録

地区歯科医師会名	歯科医療班責任者名	番号	氏　　名	性別	年齢	住　　所	傷病名	程度	処置概要	備　考
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		
				男 女				重中軽		

（注）　備考欄には、死亡又は転送先等を記入すること。

様式２

薬品・衛生材料使用報告書

地区歯科医師会名	歯科医療班責任者名	品　　名	使　用　量		薬価基準の購入価格		備　考
			単　位	数　量	単　価	金　　額	
計	―――	―――――――	―――		―――		

様式３

事 故 報 告 書

平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日までにおける　災害・訓練　時歯科医療救護活動において、別紙のとおり事故傷病者が発生したので報告します。

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

㊞

様式３－１

事故傷病者概要

氏名		性　別	男・女	年齢	才	住　所	
職業		所属医療機関・団体名					
傷病名			程度	重症・中等症・軽症		転帰	
外来・入院（　　月　　日）		診療（入院）医療機関名					
受傷（発病）日時	年　　月　　日　　午前・午後　　時　　分						
受傷（発病）場所							
受傷（発病）時の状況							

様式４

物件損傷等報告書

歯科医療施設名及び所在地	物　件　名	損傷の種　類	損傷の程　度	数　量	単　価	金　額	備　考
計	――――――	―――	―――		―――		

(注) 1. 歯科医療施設ごとに記入のこと。2. 物件名欄は、建造物、医療機械、器具及び自動車等を記入のこと。3. 損傷の種類欄は、破壊、破損、汚染及び紛失等を記入のこと。4. 損傷の程度欄は、全壊、半壊、使用不能等具体的に記入のこと。5. 備考欄は、損傷等の原因その他参考事項を記入のこと。

様式１

応急医薬品等供給要請書

「災害時における応急医薬品等の優先供給及び医療救護活動に関する協定書」第２条に基づき、応急医薬品等の供給を、下記のとおり要請します。

記

１ 品名及び数量

２ 納入年月日　　平成　　年　　月　　日

３ 納入場所　　千代田区　　町　　丁目　　番　　号

平成　　年　　月　　日

薬剤師会

会長　　殿

千代田区長　　印

所 属　　部　　課(所)

受取確認

氏 名　　㊞

様式２

応急医薬品等供給に係る請求書

「災害時における応急医薬品等の優先供給及び医療救護活動に関する協定書」第９条に基づき、
平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日までに供給した応急医薬品等の代金を、
下記のとおり請求します。

記

金　　円也

内訳（品名及び数量）

1

2

3

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

薬剤師会

会長　　㊞

様式３

費用弁償等請求書

平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日までにおける　災害・訓練　時医療救護活動に係る費用弁償等を、下記のとおり請求します。

記

金　　円

	職　種	延人員数	単　価	金　額	備　　考
医療救護班 実費弁償					延　　班 詳細は別紙のとおり
小　計	―――		―――		
薬品・衛生材料 実　費　弁　償	―――	―――	―――		詳細は別紙のとおり
施設・設備 実　費　弁　償	―――	―――	―――		詳細は別紙のとおり
計	―――	―――	―――		

平成　　年　　月　　日

千代田区長 殿

㊞

様式４

薬剤師活動報告・薬剤師名簿

地区薬剤師会名	医療救護班責任者名	氏　　名	職種	救護活動場所	救護活動期間	救護実績				
						死　亡	重　症	中等症	軽　症	計
					月　　日 午前・午後　　時　　分 から 月　　日 午前・午後　　時　　分 まで					
					月　　日 午前・午後　　時　　分 から 月　　日 午前・午後　　時　　分 まで					
					月　　日 午前・午後　　時　　分 から 月　　日 午前・午後　　時　　分 まで					
計	―――	―――――	――	―――――	―――――					

様式５

医薬品等使用報告書

地区薬剤師会名	医療救護班責任者名	品　　名	使　用　量		薬価基準の購入価格		備　考
			単　位	数　量	単　価	金　　額	
計	―――	―――――――	―――		―――		

様式６

事 故 報 告 書

平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日までにおける　災害・訓練　時応急医薬品等の優先供給及び医療救護活動において、別紙のとおり事故傷病者が発生したので報告します。

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

㊞

様式６－１

事故傷病者概要

氏名		性　別	男・女	年齢	才	住　所	
職業		所属医療機関・団体名					
傷病名		程度	重症・中等症・軽症	転帰			
外来・入院（　　月　　日）		診療（入院）医療機関名					
受傷（発病）日時	年　　月　　日　　午前・午後　　時　　分						
受傷（発病）場所							
受傷（発病）時の状況							

様式１

応急対策業務要請書

平成　　年　　月　　日

殿

千代田区長

「災害時における柔道接骨師会の協力に関する協定書」第３条に基づき、下記のとおり協力を要請します。

記

要請の理由	
業務内容	
日時	年　　月　　日　　時から　　年　　月　　日　　時まで
場所	
その他	

様式２

衛生材料等使用請求書

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

代表者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

「災害時における柔道接骨師会の協力に関する協定書」第７条に基づき、平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日までに提供した衛生材料等に関わる費用を、下記のとおり請求いたします。

記

金＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿円也

内訳

品　　名	数　量	単　位	単　　価	金　　額

様式３

応急対策活動報告書

平成　　年　　月　　日

従　事　者	活動場所	活　動　期　間	活　動　実　績
		月　　日　　時から 月　　日　　時まで	
		月　　日　　時から 月　　日　　時まで	
		月　　日　　時から 月　　日　　時まで	
		月　　日　　時から 月　　日　　時まで	
		月　　日　　時から 月　　日　　時まで	
		月　　日　　時から 月　　日　　時まで	

5

応急対策物資等
優先提供・供給協定

様式１

平成　　年　　月　　日

提　供
　　要請書
供　給

東京都　　支部
支部長　　殿

千代田区長

「災害時における　　」
第　　条に基づき、　　の 提供／供給 を、下記のとおり要請します。

記

１　品名及び数量

２　納入（出動）年月日　　平成　　年　　月　　日

３　納入（出動）場所　　千代田区　　町　　丁目　　番　　号

受取確認
所属　　部　　課（所）

氏名　　㊞

様式４

平成　　年　　月　　日

提　供
供　給　に係る請求書

千代田区長　殿

東京都　　支部

支部長　　㊞

「災害時における　　」
第　　条に基づき、平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日までに

提供
供給　した　　の代金を下記により請求します。

記

金　　円也

内訳

1

2

3

6

地域防災組織

第１号様式

地域防災組織結成報告書

組織の名称		
（町会・自治会名）		
結成年月日		年　　月　　日結成
代表者	住所	
	氏名	
	電話	
事務所（事務局）	所在地	
	連絡責任者（組織の役職名）	
	電話	
組織の規模等		加入世帯（　　）世帯 非加入世帯（　　）世帯 加入事務所（　　）事業所 加入人員（　　）名

○添付書類

(1)　役員名簿（役職名、氏名、電話）

(2)　規　　約

(3)　組織編成図（機構、配置人員）

(4)　組織区域図

地域防災組織を結成したので、上記のとおり報告します。

年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

代表者（住所）

（氏名）　　㊞

第２号様式

防災資器材助成申請書

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

代表者　住所

氏名　　㊞

電話

下記のとおり防災資器材の助成を申請します。

番（記）号	品名	数量

第３号様式

防災資器材助成受領書

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

代表者　住所

氏名　　㊞

電話

下記のとおり防災資器材の助成を受領しました。

番（記）号	品名	数量

第１号様式

防災資器材第二次装備助成申請書

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

代表者　住所

氏名　　㊞

電話

下記のとおり防災資器材の助成を申請いたします。

品　　名	数　量	予定単価	予定金額
合　　計		――――	

第２号様式

防災資器材第二次装備助成受領書

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

代表者　住所

氏名　　㊞

電話

下記のとおり防災資器材の助成を受領しました。

品　　名	数　　量	備　　考

第１号様式

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

代表者　住所

氏名　　㊞

平成　　年度補助金交付申請書

平成　　年度　　町会防災部防災資器材整備事業の実施に要する補助金を下記により交付されるよう、千代田区地域防災組織に対する補助金交付要綱第４条の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

記

1　補助金交付申請額　　金　　円

2　補助事業に要する経費　　金　　円

3　補助事業の実施期間　　平成　　年　　月　　日～平成　　年　　月　　日

4　添付書類
(1)　補助事業実施計画書
(2)　補助事業収支計画書

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

代表者　住所　　千代田区

氏名

防災資器材整備事業計画書兼収支計画書

1　事業目的

この事業の目的は、　　町会防災部の自主防災体制の充実と行動力強化を図ることを目的とする。

2　事業内容

(1)　品名及び数量

(2)　実施期間

平成　　年　　月　　日～　平成　　年　　月　　日

(3)　所要経費概算

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿円

内訳　区補助金 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

町 会 費 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3　収支計画

(1)　収　入＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿円

内　　容	金　　額
区　補　助　金 町　　会　　費	
計	

(2)　支　出＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿円

品　　名	数　量	単　　価	金　　額
計		＿＿＿＿	

第２号様式

○千総防収第　　号
平成　　年　　月　　日

組 織 名
代表者名　　殿

千代田区長

平成　　年度補助金交付決定通知書

平成　　年　　月　　日付で申請のあった　　町会防災部の防災資器材整備事業について、平成　　年度補助金を下記により交付することに決定したので、千代田区地域防災組織に対する補助金交付要綱第５条の規定により通知する。

記

1　補　助　金　額　　金　　円
2　補助事業の内容
　　町会防災部が、地震、水害等の災害時に備え、予防及び応急対策等の自主防災体制の充実と強化を目的として実施する防災資器材整備事業
3　補助金交付方法
　東京都千代田区会計事務規則(昭和 39 年千代田区規則第 3 号)の定めるところによる。
4　補助金交付条件
　この補助金は、次の事項を条件として交付するものである。
(1)　承認事項
　次のアからウまでのいずれかに該当する場合は、あらかじめ区長の承認を受けなければならない。但し、ア及びイに掲げる事項のうち軽微なものについてはこの限りではない。
　ア　補助事業に要する経費の配分を変更しようとするとき。
　イ　補助事業の内容を変更しようとするとき。
　ウ　補助事業を中止し、又は廃止しようとするとき。
(2)　実績報告
　補助事業が完了したとき、又はこの補助金の交付決定に係わる会計年度が終了したときは、次に掲げる事項を記載した実績報告書を提出しなければならない。(1)のウの項により廃止の承認を受けた場合も同様とする。
　ア　補助事業の成果
　イ　補助金に係わる収支計算に関する事項
　ウ　その他必要と認める事項

(3)　是正のための措置

(2)により実績報告を受けた場合、それを審査し、また、必要に応じて調査を行い、その報告に係わる補助事業の成果が補助金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合していないと認めるときは、これに適合させるための措置を講ずることがある。

(4)　決定の取り消し

アからウまでのいずれかに該当した場合は、補助金の交付決定の全部又は一部を取り消すことがある。

ア　偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けたとき。

イ　補助金を他の用途に使用したとき。

ウ　補助金の交付決定の内容又はこれに付した条件その他法令に違反したとき。

(5)　補助金の返還

補助金の交付を取り消した場合において、補助事業の当該取り消しに係わる部分に関し、すでに補助金が交付されているときは区長の指示するところにより、取り消された補助金の額を返還しなければならない。

(6)　違約加算金

(5)により補助金の交付決定の全部又は一部を取り消され、その返還を命じられたときは、その命令に係わる補助金の受領の日から納付の日までの日数に応じ、当該補助金の額(その一部を納付した場合におけるその後の期間については既納額を控除した額)につき年10.95%の割合で計算した違約加算金(100円未満の場合を除く。)を納付しなければならない。

(7)　延滞金

補助金の返還を命じられた場合において、区長の指示した納付日までに納付しなかったときは、納付日の翌日から納付の日までの日数に応じ、その未納額につき年10.95%の割合で計算した延滞金(100円未満の場合を除く。)を納付しなければならない。

第３号様式

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

住所

代表者

氏名　　㊞

平成　　年度補助事業実績報告書

平成　　年度　　町会防災部防災資器材整備事業の実施成果等について、千代田区地域防災組織に対する補助金交付要綱第７条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1.　補助事業の成果に関すること
　　別紙のとおり

2.　補助金に係る収支計算に関すること
　　別紙のとおり

3.　その他

実　績　報　告　書

1　補助事業の成果に関すること

2　補助金に係る収支計算に関すること

事業に要した経費＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿円

(1)　収　入

内　　容	金　　額
町　会　費	円
区　補　助　金	円
	円
	円
計	円

(2)　支　出

内　　容	金　　額
	円
	円
	円
	円
	円
	円
消　費　税	円
計	円

(3)　その他

請求書

請求金額　　￥　　円

ただし、平成　　年度　　町会防災部資器材整備事業実施に要する補助金

上記の金額を請求いたします。

下記口座にお振り込みください。

平成　　年　　月　　日

千代田区長　　殿

組　織　名

代表者住所

氏　　名　　㊞

振込先金融機関

銀　　行 信用金庫 信用組合					本店 支店
預金種目	1.普通　　2.当座 3.貯蓄（○で囲む）	口座 番号		電話	
フリガナ					
氏　名					

委　任　状

平成　　年　　月　　日

平成　　年度　　地域防災組織に対する補助金

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿円の受領権限を

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿氏に委任します。

組　織　名

代表者・住所

氏名（町会長）　　㊞

振　込　先

銀行、信用組合
信用金庫　　店

普通・当座　　口座番号

名義人

会計

（第１号様式）

防災資器材緊急装備助成申請書

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

代表者　住所

氏名　　㊞

電話

下記のとおり防災資器材の助成を申請いたします。

品　　名	数　量	予定単価	予定金額
合　　計		――――	

（第２号様式）

防災資器材緊急装備助成受領書

平成　　年　　月　　日

千代田区長　殿

組織名

代表者　住所

氏名　　㊞

下記のとおり防災資器材の助成を受領いたしました。

記

品　　名	数　　量	備　　考
合　　計		

7

給水・避難施設

（様式１）

第　　号
平成　　年　　月　　日

支所長　殿

区長

＿＿＿＿＿給水施設の使用について(申請)

標記施設を下記のとおり防災訓練に使用したいので承認願います。

記

1　日　　時　　日午前/後　　時　　分から　　日午前/後　　時　　分まで

2　対象人員

3　給水予定量

第　　号
平成　　年　　月　　日

区長　殿

支所長

＿＿＿＿＿給水施設の使用について(承認)

平成　　年　　月　　日付　　第　　号により申請のあったこのことについては承認します。

（様式２）

第　　号
平成　　年　　月　　日

支所長　殿

区長

＿＿＿＿＿＿給水施設使用責任者 選　任 / 変　更 通知

標記施設使用責任者を下記のとおり 選　任 / 変　更 したので通知します。

記

給水施設責任者

新　　区

旧　　区

（様式３）

第　　号
平成　　年　　月　　日

支所長　殿

区長

資器材の 搬入／点検 について

応急給水のための資器材を下記により 給水施設内に搬入／点検 したいので了承願います。

記

1　日　　時　　日午 前／後　　時　　分から　　日午 前／後　　時　　分まで

時間　　分

2　資器材の 搬入／点検 品目

第　　号
平成　　年　　月　　日

区長　殿

支所長

資器材の 搬入／点検 について

平成　　年　　月　　日付　　第　　号により依頼のあったこのことについては承認します。

様式１

平成　　年　　月　　日

避難所開設通知書

高等学校長　殿

千代田区長

以下のとおり、貴施設に避難所を開設 {したい／した} ので、避難所施設利用に関する協定書第４条に基づき、通知いたします。

使 用 理 由	
使用予定日時	平成　　年　　月　　日　　時　　分から 平成　　年　　月　　日　　時　　分まで
使 用 範 囲	協定書第３条に定める範囲（別紙校舎平面図のとおり）
収容見込人員 ※1	世帯　　人 男　　人　　女　　人　　計　　人 (内)乳児　　人　幼児　　人　高齢者　　人　障害者　　人 傷病者　　人（　　時　　分現在）
収 容 状 況	
特 記 事 項	
周辺の被害及び 避難所開設状況	

※1　開設当初の収容者数又は収容見込数を記入すること。

様式２

平成　　年　　月　　日

避難所使用期間延長申請書

東京都教育長　殿

千代田区長　　印

以下のとおり、貴施設の避難所開設期間を延長したいので、避難所施設利用に関する協定書第７条第２項に基づき、申請いたします。

延長を必要とする理由	
当初開設予定期間	平成　　年　　月　　日　　時　　分から 平成　　年　　月　　日　　時　　分まで
閉鎖見込日時	平成　　年　　月　　日　　時　　分まで
収容人員 ※1	世帯　　人 男　　人　　女　　人　　計　　人 (内)乳児　　人　幼児　　人　高齢者　　人　障害者　　人 傷病者　　人（　　時　　分現在）
収容状況	
特記事項	

※1　延長申請時における収容者数を記入すること。

様式３

平成　　年　　月　　日

避難所使用終了届

高等学校長　殿

千代田区長　　印

以下のとおり、貴施設の避難所使用を終了したので、避難所施設利用に関する協定書第９条に基づき、届出いたします。

終了理由		
終了日時	平成　　年　　月　　日　　時　　分	
残存収容者への対応措置		
特記事項		
原状復旧確認	立会者　　㊞ 立会者　　㊞	復旧責任者　　㊞ 　　㊞

様式１

１　避難所勤務状況　　＿＿＿＿＿＿＿＿＿避難所

職	氏　　名	所　　属	避　　難　　所			
			到　　着		退　　出	
			年月日	時　分	年月日	時　分

様式２

２　日　　誌　　＿＿＿＿＿＿＿＿＿避難所

年月日	従　事　者		気　象　状　況	受(発)信、その他 連絡事項(時間別)	記　事
	職	氏　名			

様式３

３　物品受払簿　　＿＿＿＿＿＿＿＿避難所

品　　名	単　位	数　量	年　月　日	摘 要	受	払	残

様式４

４　収容者名簿　　＿＿＿＿＿＿＿＿避難所

住　　所	氏　　名	性別	年令	収　容　期　間		計 （　　日間）
				自月日	至月日	

様式５

５　避難所収容状況調　　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿避難所

日　時 避難室名	収容実人員								乳児	給食		要医療人員	要助産人員	建物種別
	世帯	人員	男			女				済人員	次回見込人員			
			大人	小人	計	大人	小人	計						

8

緊急車両

整理番号（　　署
課
隊　　号）　　様式１

地震防災 災　害　応急対策用 緊急通行車両等事前届出書 年　月　日 東京都公安委員会殿 申請者住所 （電話） 氏名　　㊞	地震防災 災　害　応急対策用　　第　号 緊急通行車両等事前届出済証 先のとおり事前届出を受けたことを証する 年　月　日 東京都公安委員会

番号標に表示されている番号		
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）		
使用者	住　所	（　　）　局　番
	氏　名	
出　発　地		

（注）　この事前届出書は２部作成して、当該車両を使用して行う事務又は業務の内容を証する書類をそれぞれ添付の上、警視庁本部（都市交通対策課）又は車両の使用の本拠地を管轄する警察署に提出してください。

備　考	

（注）１　警戒宣言発令時又は災害発生時には、この届出済証を最寄りの警視庁本部、警察署、交通機動隊、高速道路交通警察隊、交通検問所等に提出して所要の手続きを受けてください。

２　届出内容に変更が生じ、又はこの届出済証を亡失し、滅失し、汚損し若しくは破損した場合には、東京都公安委員会（都市交通対策課又は警察署経由）に届け出て再交付を受けてください。

３　次に該当するときは、この届出済証を返還してください。

(1)　緊急通行車両等に該当しなくなったとき。

(2)　緊急通行車両等が廃車になったとき。

(3)　その他緊急通行車両等としての必要がなくなったとき。

備考　用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

様式２

地震防災
災　　害　応急対策用

緊急通行車両等確認申請書

年　　月　　日

東京都公安委員会殿

申請者住所

（電話）

氏名　　㊞

番号標に表示されている番号			
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）			
使用者	住　所	（　　）　局　　番	
	氏　名		
通　行　日　時			
通　行　経　路		出　発　地	目　的　地
備　　考			

（備考）用紙は、日本工業規格 A5 とする

様式３

第　　号

年　　月　　日

緊急通行車両等確認証明証

東京都公安委員会　　印

番号標に表示されている番号			
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）			
使用者	住　所	（　　）　局　　番	
	氏　名		
通　行　日　時			
通　行　経　路		出　発　地	目　的　地
備　　考			

（備考）用紙は、日本工業規格 A5 とする

備考１　色彩は、記号を黄色、縁及び「緊急」の文字を赤色、「登録（車両）番号」、「有効期限」、「年」、「月」、「日」の文字を黒色、登録（車両）番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。

２　記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。

３　図示の長さの単位は、センチメートルとする。

9

遺体収容

様式１

救助実施記録日計票

救助の種類				
	避	炊	水	救出
	修理	学	死捜	死処
	障			

＿＿＿＿＿＿市町村

責任者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

地区責任者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Ｎｏ.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　月　　日　　時　　分

員数（世帯） 品目（数量金額） 受入先 払出先 場所 方法 記事	

記入要領

① 各救助の種類ごとに作成すること。

② 記録票欄外のナンバー欄には記録票作成ごとに一連番号を附するものとし、前回分を訂正する必要が生じた場合、例えばNo.10 の次にNo.5 の分を訂正する場合にはNo.11（No.5 訂正）のように記載のうえ前回分もNo.5 の記録票には朱で×印を附し（No.11 に訂正済）とし、棄却することなくそのままナンバー順に綴っておくこと。なお、救助の実施種類が多い場合には救助の種類ごとに一連番号を附しナンバー順に綴ってよい。

③ 記録票欄外の救助の種類別欄の該当の救助名を○で囲み欄内該当欄に必要最少限度の事項を記入する。

④ 機械機具等を無償で借上げた場合についても記録票を作成する。

⑤ 災害救助基金より放出した場合についても同様とする。

⑥ 被服寝具その他生活必需品の給与等で、都道府県調達分と市町村調達分の双方があるときはそれぞれ別個に記録票を作成する。

様式２

救助の種目別物資受払状況

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

救助の種目別	年 月 日	品　　名	単　位 呼　称	摘　要	受	払	残	備　　考
遺体の捜索用								
遺体の処理用								

(注) 1　「摘要」欄に購入又は受入先及び払出し先を記入すること。

2　「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること。

3　各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。なお、物資等において、都道府県よりの受入分及び市町村調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

4　救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。

なお、「備考」欄に払高数量(使用数量)に対する金額を記入すること。

様式３

市長村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

遺体の捜索状況記録簿

年月日	捜索人員	捜索用機械器具								実支出額	備考
		名称	借上費			修繕費			燃料費		
			数量	所有者(管理者) 氏名	金額	修理月日	修繕費	修繕の概要			
					円		円		円	円	
計		―――		―――		―――		―――			―――

（注）　1　他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。

2　借上費については有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、借上費「金額」欄に記入すること。

3　「修繕の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

様式４

市長村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

死体処理台帳

処理年月日	死体発見の日時及び場所	死亡者氏名	遺族		洗浄等の処理			死体の一時保存	検案料	実支出額	備考
			氏名	死亡者との関係	品名	数量	金額				
							円	円	円	円	
計	―――	人	―――	―――	―――						

様式５

遺 体 処 理 票

災害遺体番号		第　　号
死亡者	氏　　名	（　　才）
	住　　所	
	死亡年月日	年　　月　　日
	死亡原因	
	遺体発見の日時、場所	
引取人	氏　　名	
	住　　所	
	死亡者との関係	
	引取年月日	年　　月　　日
遺留品	処理番号	
	保管所	
備　　考		
遺体収容所		

様式６

遺留品処理票

遺留品処理番号		第　　号
遺留品		
引取人	氏　　名	
	住　　所	
	死亡者との関係	
	引取年月日	年　　月　　日
死亡者	遺体番号	第　　号
	氏　　名	
	住　　所	
備　　考		
遺留品保管所		

様式７

災 害 遺 体 送 付 票

送付第　　号

送　　付　　票

千代田区災害遺体

第　　号（氏名　　）を送付する。

平成　　年　　月　　日

千代田区長名

火葬場　殿

様式８

遺骨及び遺留品処理票

遺骨処理番号		第　　号
死亡者	災害遺体番号 氏名 住所 焼骨日時場所	第　　号
引取人	氏名	
	住所	
	死亡者との関係	
	引取年月日	年　　月　　日
遺留品	処理番号	
	保管所	
備考		
納骨場所		

様式９

市長村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

埋葬台帳

死亡年月日	埋葬年月日	死亡者		埋葬を行った者		埋葬費				備考
		氏名	年令	死亡者との関係	氏名	棺(付属品を含む)	埋葬又は火葬料	骨壷	計	
						円	円	円	円	
計	――	人	――	――	――――					

（注）１　埋葬を行った者が市(区)町村長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
　　２　市(区)町村長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。
　　３　埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること。

10

災害対策本部運営

本部長	副本部長	部　長	課　長	係　長

災害対策本部　記録様式

千代田区災害対策本部

整理番号	月　日　時　分	通知先		記録者	
件　名					
内容					
備考					